

楽しみながら一歩ずつ

岐阜市立岐北中学校 3 年

久世水妃(くぜ みずき)

みなさんはゴミの分別をしていますか。普通ゴミ、ビン、カン……ゴミの分別の種類はたくさんあります。私は大雑把な性格なので、正直に言うとゴミの分別は苦手でした。しかし、岐阜市でプラスチックゴミの分別回収が始まったことが、私のゴミの分別に対する意識を変えるきっかけとなりました。

岐阜市では、4月からそれまで普通ゴミで良かったプラスチックゴミを分別しないといけなくなりました。私は率直に面倒だと思いました。それはクラスの中でも同じことで、一度その話題が出た時には、私と同じ思いの人がたくさんいました。家族で話題にしたときもそうです。では、なぜ面倒なのでしょう。それは、今までと制度が変わったこと、複雑な条件にあると思います。例えば「汚れがついているものは、洗ってからプラスチックゴミとして出す」というものです。プラスチックゴミとして分別するためには、一度洗って汚れを落とさないといけません。普通ゴミとして出すよりも手間多くかかってしまいます。それならわざわざプラスチックゴミとして分別するよりも、普通ゴミのまま出せば良いかなとなってしまいます。実際に、私もそういう意識でいました。

そんな中、家庭科の授業で岐阜市役所の方からゴミの分別に関する講習を受けました。私はそこで衝撃的なものを見ました。ゴミでうめつくされた海岸、胃いっぱいプラスチックを飲み込んでしまった魚、鼻にプラスチックが刺さってしまった亀……。私はとても心苦しく思いました。私たちのしていることのせいで、関係のない生き物や自然が被害を受けているのです。しかし、海なし県民の私には関係ないのではとも思いました。その時、岐阜市役所の方は、川から海に流れ出ていくプラスチックゴミもたくさんあるというお話をしてくださいました。私は自分の考えが浅はかだったことを痛感しました。環境はつながっているのです。私にも責任があることが分かりました。

また、そこでは「減 CO₂ポイント」という取り組みについてもお話がありました。これは、普段から行える二酸化炭素の排出量を減らす取り組みを行うことや、取り組みについて理解を深めることでポイントが得られて、それで、生活に役立つものがもらえるという取り組みです。例えば、私が家庭科の授業で受けた講習、それを受けると5ポイントがもらえて、それで QUO カードに応募できます。その取り組みについて聞いた時に私は一つの気付きがありました。この取り組みは環境を改善することを小難しく面倒なものから、簡単に誰でも楽しめるようにしているということです。私もゴミの分別を試みようかなと思いました。

この講習を受けてから、私はプラスチックゴミが他にどんな影響を及ぼすのかを調べてみました。魚がプラスチックゴミを飲み込んでしまうことは、魚の数を減少させ、それが漁業や観光業、養殖業に影響が出るそうです。それらを生業としている人は、職を失ってしまいます。このように私たちの生活に直接被害が出ると聞くと、そこまでどこか遠くのもののように感じていた問題が急に近いもののように感じられて、改善するために、何か行動しなくてはという気持ちになりました。

そこで私の家では、プラスチックゴミを分別するためのゴミ箱を用意しました。それを使ってプラスチックゴミの分別をしてみると、意外とすいすいできました。面倒とばかり思っていたプラスチックゴミの分別でしたが、やってみると意外と簡単で、とても楽しいです。一週間集めてみて分かったのですが、私が思っているよりもプラスチックゴミの量はとても多いです。私がこれまで普通ゴミとして捨ててきたものの中に、こんなにも資源が眠っていたのかと思うと、後悔でいっぱいになりました。そろそろプラスチックゴミの分別を始めてから3ヶ月になります。私は前よりもプラマークを意識するようになりました。意外のものにプラマークを発見することもあり、何についているのか探していくのが楽しくなりました。これならこれからも楽しみながら続けていけそうです。

私は、家庭科の授業で受けた講習をきっかけに環境についての興味をもち、プラスチックゴミの分別というアクションを起こしてやることができました。私のしていることは、直接海の環境につながっていくわけではありませんが、環境を改善していくための大切な一歩だと思います。今、地球には、さまざまな環境問題があります。私の住んでいる地球の環境を守る、そんな大きなことも、小さなことの積み重ねで達成できます。私の住んでいる地球の環境を守る、そのために小さなことから一歩ずつ、自分にできることを見つけて続けていきたいです。